

(仮訳)

Key Issue :

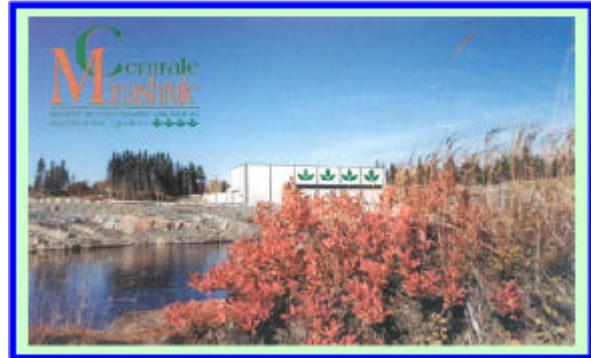
- 8 : 少数グループ
- 11 : 発電による便益

気候区分 :

Df : 亜寒帯湿潤気候

主題 :

- 9.9MWの水力発電所の資金調達・建設・運用のための先住民地域社会との共同実施



効果 :

- 発電プロジェクトを実施する際の専門技術の習得
- 先住民地域社会のための雇用創出ができるような他のプロジェクトに再投資するために循環的収入源の創造
- 技術移転と専門的技術者育成のための教育訓練

プロジェクト名 : Minashtuk発電所

国名 : カナダ

実施機関 / 実施期間 :

- プロジェクト : Hydro-Ilnu inc. (Minashtuk Limited Partnership Companyの無限責任出資者)
1999年 2000年
- Good Practice : Conseil des Montagnais du Lac-Saint-Jean、
Hydro-Québec社、Hydro-Ilnu inc.
1992年 2000年 (運営期間は2040年まで)

キーワード :

流れ込み式小水力発電所の資金調達と共同開発、利益の分配、先住民地域社会との共同実施、企業家と技術的専門家による開発促進活動、建設的な経済社会開発の波及効果

要旨 :

Minashtuk プロジェクトは、州の公営電力会社であるHydro-Québec社と先住民地域社会間の共同実施の興味ある一例である。その目的は、合資会社の創設による、設計・F/S調査・資金調達・建設・運転を含めた発電所の建設であった。

1. プロジェクトの概要

1990年代初頭以来、Lac Saint-Jean 地方の Montagnais 先住民は、地域社会の長期的な経済・社会開発を確保する方法になるような新規構想を検討していた。彼らの土地に送電線を建設するために、自治団と Hydro-Québec との間で1994年に締結した合意の中で、両者は、特定プロジェクトにおいてパートナーシップを締結する意図があることを表明した。

Montagnais 先住民に長期的な便益を提供するために独特な仕組みが考え出された。地域社会は、発電所計画において一定の管理権限を保持することを望んだ。合意されたその打開策は有限の合資会社の形

(仮訳)

態をとることであった。

Minashtuk 発電所は、2000年5月に運転を開始した。総工事費C\$25M（約25億円）の小規模な流れ込み式発電所である。

発電諸元

以下の表は、Minashtuk発電所の主要諸元を要約したものである。

プロジェクト費用	C\$25 M（約25億円）
最大出力	9.9 MW
水車型式	縦型カプラン
台数	2 基
最大使用水量	63 /s・基
有効落差	9.4 m
年間発電電力量	61 GWh
設備利用率	70%

Minashtuk発電所は、最先端の技術的業績である。その計画は厳格な環境基準に基づくものであり、当該環境基準はInnu-Montagnais 先住民の価値観を尊重するとともに、環境保護対策を伴った経済開発が行わなければならない。

ダムは、3箇所の大きなラバーダムから構成され、優れた機能と柔軟性で Mistassibi 川の流れを調節する。ラバーダムは完全にコンピュータで制御され、必要に応じて膨らませ、発電に必要な流量を発電所に供給する。その水は2台の立軸カプラン水車を動かす。乾式変圧器は、環境基準を十分に満足しており技術的な利点がある。



Ballon gonflé, section de 60 mètres au barrage est. - Le 27 Janvier 2000.

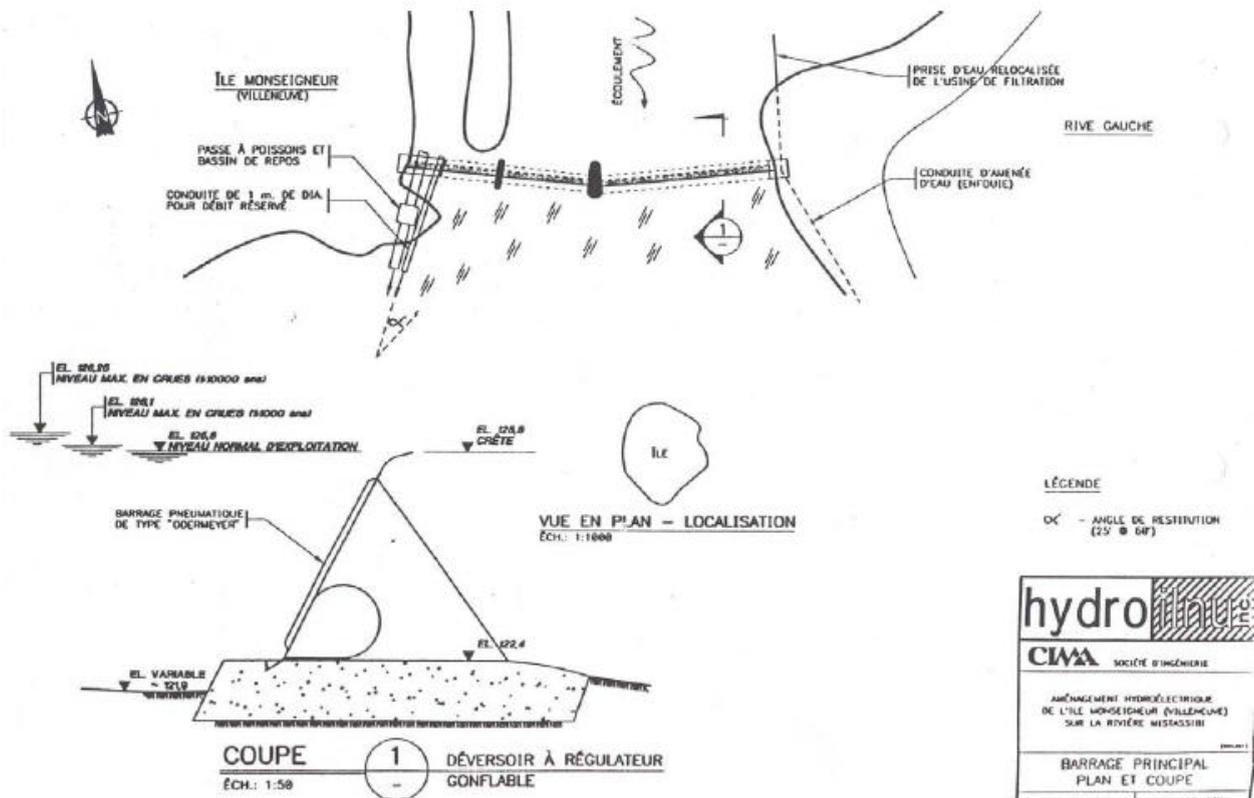
MINASHTUK 発電所、東ダム (60m 部分)、エアバッグ、
2000年1月27日



Vue d'ensemble du barrage est. Pose du ballon dans la section de 60m. Le 20-02-2000.

MINASHTUK 発電所、東ダム (60m 部分)、ダム概観、
エアバッグの設置、2000年2月20日

(仮訳)



Minashtuk 発電所 3つのエアバッグから成るダム

2. プロジェクト地域の特徴

Minashtuk発電所は既に完成している。 Minashtuk発電所は、カナダ東部のQuébec州に位置している（地図-1）、より具体的には Minashtuk発電所は、人口約15,400人を有するDolbeau - Mistassini 自治区（地図-3 & 4）の境界内でMistassibi 川（地図-2）の中にあるMonseigneur島に位置する。 最大出力9.9 MWのMinashtuk発電所は、水没する土地をほとんど伴わず、川の自然の流れをほとんど変化させなかったため、環境負荷を最小限に抑えることができた流れ込み式の発電所である。

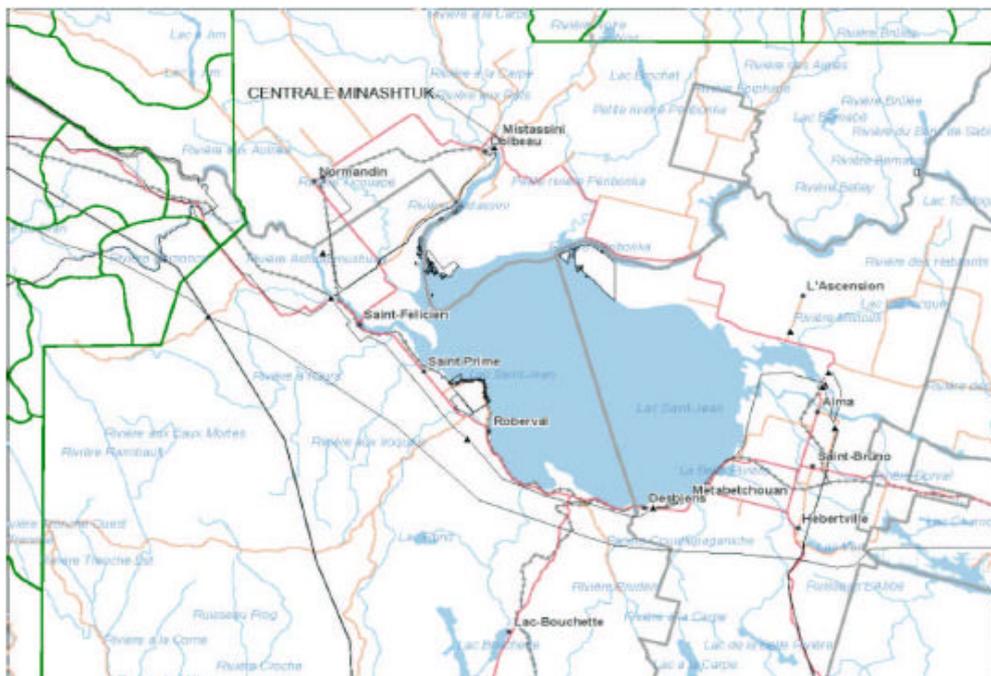
Lac Saint-Jean 地方の Montagnais 先住民自治団は、プロジェクト推進の中心となるHydro-Ilnu (1996) を所有している。 この先住民コミュニティは約1,980人の住民がいる。 Mashteuiatsh と呼ばれる自治団の村落は、発電所から約60kmの所に位置している。 自分たちをInnu と称するMontagnais 先住民は、Mistassibi Riverが位置する地域で、狩猟、採取、漁獲および毛皮用動物のわな仕掛けにより伝統的な生活を営んでいた。

(仮訳)

地図-1 : Qu bec州



地図-2 : Lac-Saint-Jean 地域

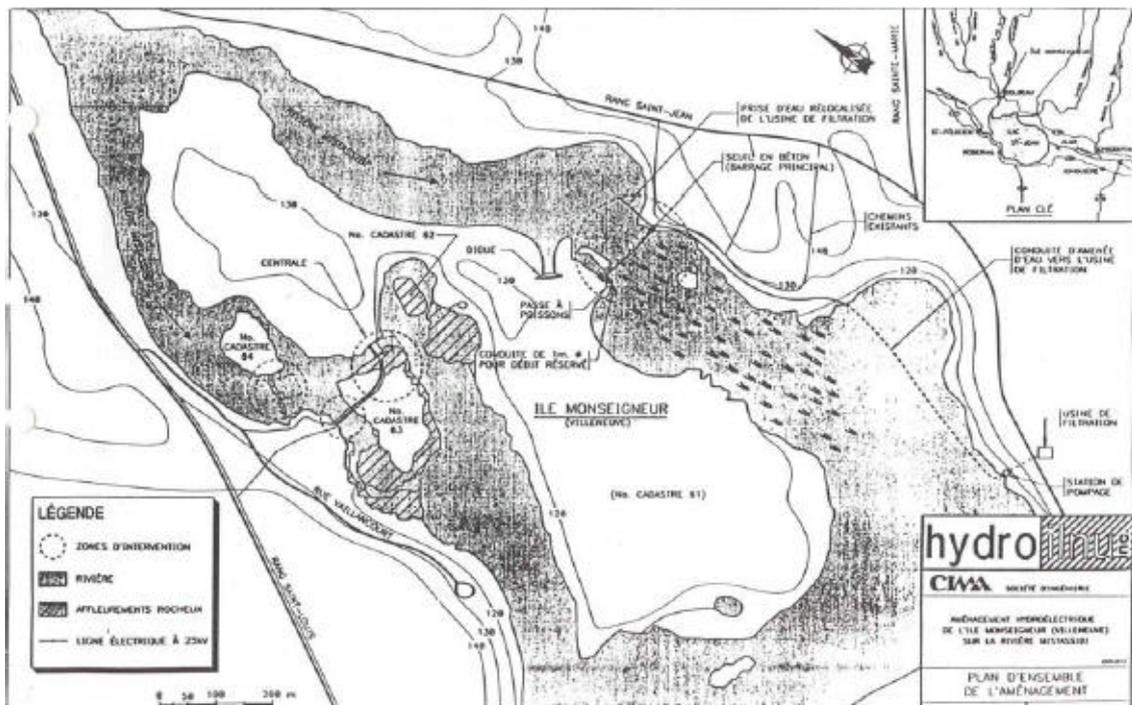


(仮訳)

地図-3 : Dolbeau-Mistassini 市



地図-4 : Dolbeau - Mistassini市内のプロジェクト位置



(仮訳)

3. 便益

先住民地域社会とHydro-Québec社との間の提携は、下記のように、Québec州民法典の2236および2238条で定義される合資会社の形態をとった。

- 合資会社は、会社の管理と責任の権限を与えられた1名以上の上級出資者と、会社株式への出資義務を有する1名以上の特定出資者からなる提携である。
- 上級出資者は、合資会社の役員としての権限、権利および義務を持ち、特定出資者に対して決算報告を行う義務を負う。
- 上級出資者は、受益者に対して資産の運用を託されている一般の経営者を束縛するのと同じように、特定出資者に対して同様の義務を負わされている。善意の第三者に対しては上級出資者の権限を制限するような規定は設定する必要はないと思われる。

発電所は、Minashtuk合資会社が所有している。Lac Saint-Jean地方のMontagnais先住民自治団は、出資比率が50%を超える絶対多数の出資者である。州の公営電力会社であるHydro-Québec社が残るシェアを所有している。Hydro-Québec社は、合資会社の利権を持つことに加えて、20年契約（更に20年間の更新が可能）に基づき、プロジェクトによって発電した全電力を購入することに同意した。合資会社は、プロジェクトの総費用の約25%を直接投資し、その残額は長期の銀行融資によって調達された。

Lac Saint-Jean地方のMontagnais先住民自治団が100%所有するHydro-Ilnuは、合資会社の上級出資者である。Hydro-Ilnuは、発電所の設計、F/S調査の実施、政府許可の取得、ターンキー建設契約の交渉と管理および施設の運転について責任を負っている。Minashtuk発電所は、Hydro-Ilnuによって開発された最初のプロジェクトである。

4. 便益の効果

Minashtukプロジェクトの実施によって、Lac Saint-Jean地方のMontagnais先住民自治団の側では、プロジェクトの資金調達、管理や運営についての専門的知識の向上につながった。当プロジェクトは雇用先を生み出した。1999年2月から2000年6月までの建設期間中では、Montagnais先住民地域社会で16箇所の雇用先が、Dolbeau-Mistassini地域で40箇所以上の雇用先が生み出された。さらに、Hydro-Québec社との長期電力販売契約は、発電所の維持・管理に関して4箇所の恒久的な雇用先を維持している。プロジェクトによる電力販売収入は、新たな開発プロジェクトを促進するための一定の資金を自治団に提供している。

合資会社は、絶対多数の出資者かつ唯一の上級出資者であるHydro-IlnuとしてのLac Saint-Jean地方のMontagnais先住民自治団に対して、環境保護を優先するようなプロジェクトを計画することを認めた。プロジェクトは、当地方の経済的副次効果を最大限にするという共通目的を持って、当合資会社へのDolbeau-Mistassini自治区の参画の可能性についても認めている。

Saguenay-Lac-Saint-Jeanの地方新聞である“Le Quotidien”の2000年10月28日付けの記事（頁11）によれば、プロジェクトは、13%から15%の投資収益を生み出すと予測されている。

5. 成功の要因

Minashtuk発電所プロジェクトは、Québec州の先住民地域社会によって計画され実施された最初のプロジェクトである。Lac Saint-Jean地方のMontagnais先住民自治団内部で数年間に渡って起きていた政治的な変

(仮訳)

化にもかかわらず、常にプロジェクトを成し遂げる意志があった。同様のことが、Hydro-Québec社の役員会についても当てはまる。

主たる水力発電事業者としてのHydro-Québecの参画と、20年間に渡って当施設が発電する全電力を購入する取引契約は、関与した銀行および納入業者を安心させた。

6. 第三者のコメント

• Montreal 銀行, 主たる融資銀行

先住民サービス局の上級副社長である Ron Jamieson 氏は、“我々は Montagnais 先住民コミュニティーの経済・社会的発展に貢献するであろうこのようなプロジェクトに関与できたことを喜びとする。”と語った。更に、“副次効果が全体で約C\$ 10M (10億円)と評価されるこのプロジェクトは、Dolbeau-Mistissini 地区の地域社会全体の利益になるでもあろう。”と付け加えた。

• Saguenay - Lac - Saint - Jeanの地方新聞である LeQuotidienの2000年10月28日付けの記事(頁11)(訳)
“Minashtuk”発電所落成式
(DR) – 昨日の “Minashtuk”発電所の公式落成式において、Mashteuiatsh Montagnais先住民地域社会の住民は得々としていた。当該施設は、Dolbeau-Mistassini地区のRang St-Louisの始点である Mistassibi川に位置する。

運輸大臣兼先住民担当大臣である Guy Chevrette氏を含めて数十名の賓客が出席した。

”Mashteuiatsh 先住民自治団長の Clifford Moar氏は、“我々は、地域開発において真のパートナーとしての役割を果たしている。Montagnaisの貢献が、見落とされるはずがない。”と語った。

• Hydro-Review, 1997年2月 (添付の記事参照)

7. 詳細情報の入手先等

7.1 参照文献

1) Public presentation of the project at the official inauguration on November 21, 1996.

Hydro-Ilnu inc.

Hydroelectric Complex / Minashtuk Generating Station / Monseigneur Island (Villeneuve)

/ Mistassibi River

Mashteuiatsh, November 1996.

2) Article in Piekukami Inutsh magazine, Volume 8, Number 8, October 21, 2000, page 3.

Inauguration ceremony on October 27 / Inauguration of the Minashtuk generating station

(translation).

7.2 問い合わせ先

• Hydro-Ilnu (1996) inc., representing the Minashtuk Limited Partnership Company

1771, rue Amisk

Ma hteuiatsh (Québec) G0W 2H0

Canada

(仮訳)

Telephone: (418) 275-1113

Fax: (418) 275-2394

E-mail: societe.minashtuk@cgocable.ca

- Conseil des Montagnais du Lac-Saint-Jean / Band Council of the Montagnais of Lac Saint-Jean

Alain Nepton

Vice-Chief, External Relations

1671, rue Ouiatchouan

Mashteuiatsh (Québec) G0W 2H0

Canada

Telephone: (418) 275-5386, ext. 222

Fax: (418) 275-6212

E-mail: cdm@mashteuiatsh.ca

- Hydro Québec

Guy Boucher

Advisor Relations with Aboriginal Communities

75, boul. René-Lévesque Ouest

17^e étage

Montréal (Québec) H2Z 1A4

Canada

Telephone: (514)289-2211, ext. 4869

Fax: (514) 289-2523

E-mail: boucher.guy@hydro.qc.ca